

全生連の 2019 年参議院選挙の基本要球

2019 年 5 月 22～24 日

全生連第 42 期第 3 回全国理事会

- (1) 2019 年 10 月に予定されている消費税 10%への増税を中止すること。
- (2) 2013 年と 2018 年 10 月からの二度にわたる生活保護費の引き下げを中止し、元に戻すこと。
- (3) 年金改悪を中止し「減らない年金」に戻し、最低保障年金をつくること。
- (4) 「国保の都道府県化」による国保料値上げに反対し、国の補助金を新たに 1 兆円増額し、協会けんぽ並みに値下げし、誰もが安心して医療を受けられるようにすること。
- (5) 介護保険の負担を軽減し、サービス切り捨ての「保険外し」を中止すること。
- (6) 義務教育の完全無償化。給付型奨学金の抜本的拡充、奨学金無利子化、給食費無償化など、教育を充実すること。
- (7) 希望者が入居できるように公営住宅を建設し、家賃減免、入居承継等安心して住み続けられる公営住宅に改善すること。
- (8) 軍事費の大幅削減、大企業への中小企業並みの課税、証券税制など大金持ちへの優遇をやめ、社会保障・教育予算など国民生活を支える財源をつくること。
- (9) 原発事故を風化させず、補償と復興、原発再稼働中止、即時廃炉、再生可能エネルギーへの変換を求めます。
- (10) 安保法制を廃止し、立憲主義を守る政治に転換すること。
- (11) 憲法改悪反対。憲法 9 条、13 条、25 条を柱に個人の尊厳の尊重、「平和的生存権」を守り、生活に憲法が生きる政治への転換すること。
- (12) 沖縄の米軍新基地建設反対。憲法と国内法を無視した米軍の特権を正すこと。
- (13) 日本が唯一の被爆国として、世界の流れに沿い「核兵器禁止条約」を批准すること。